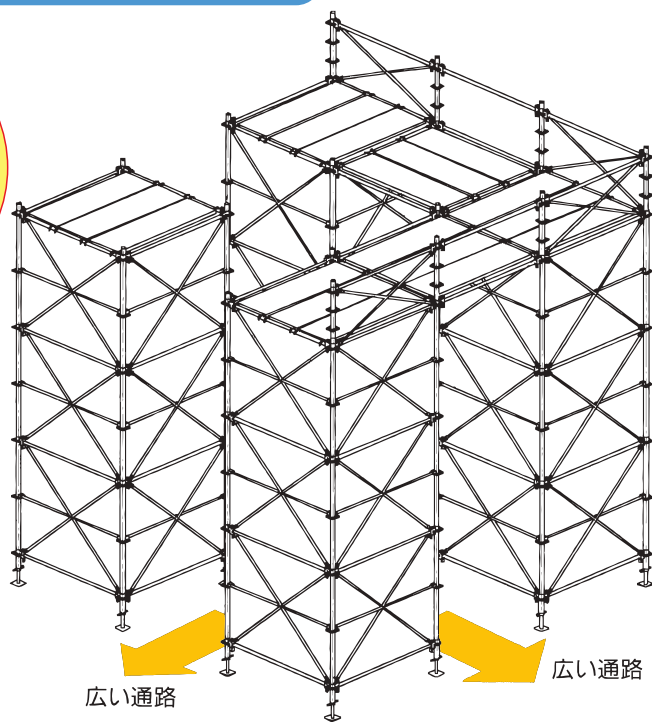
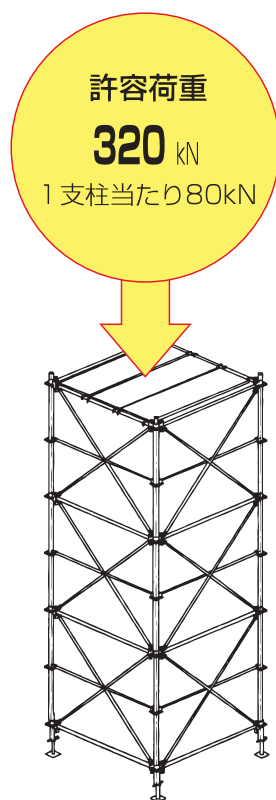


基本システム

強力な許容耐力

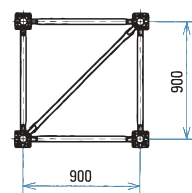
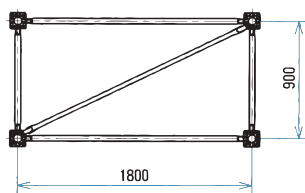
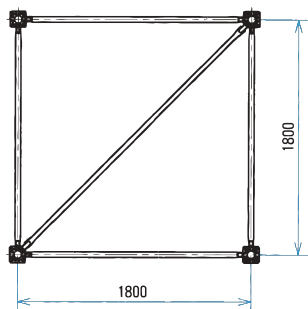
剛性の高い接続金具と鉛直ブレースを系統的に組立て強固な3種類の四角塔を形成しますので、従来システム支保工に比べ垂直荷重で30%アップします。

	• 80kN仕様	• 65kN仕様
破壊荷重	763 kN	560 kN
四角塔当りの許容荷重	320 kN	260 kN
1 支柱当りの許容荷重	80 kN	65 kN



3種類の四角塔（平面図）

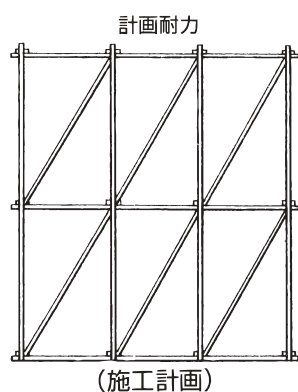
1800×1800 スパンの積載荷重 250 (kg/m²)



安全な通路確保

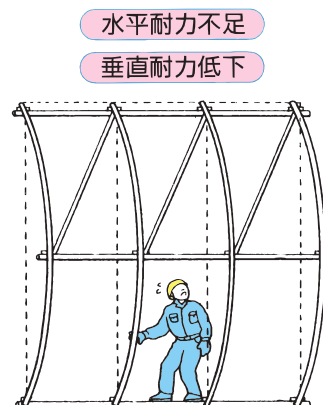
従来支保工のベタ支柱式では、通路確保や作業等により斜材を抜かれるため大変危険でした。パワーフレームの場合、施工時にすでに通路を確保しているので斜材を抜くことがなく安全です。しかも、フォークリフトが通れる広い通路の確保も可能です。

従来支保工法

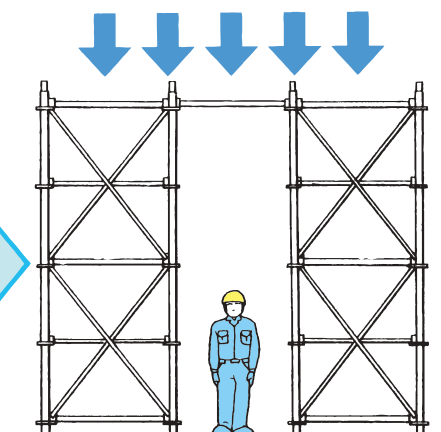
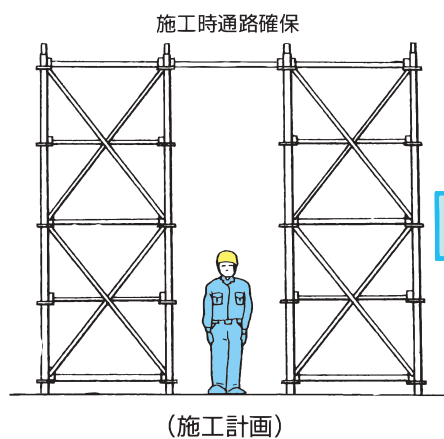


現状

通路確保等による
斜材の取外し



パワーフレーム



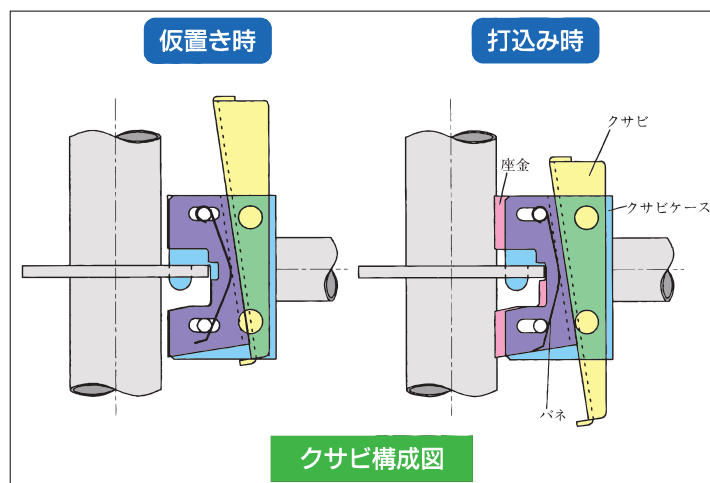
安心

安全



剛性の高い接続金具

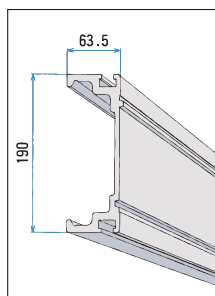
クサビ部は自己保持機能付のため、クサビを押すと仮止めができます。また、クサビ部と支柱との接触面が大きいので、曲げ強度が大きく、しかも支柱の歪みもありません。



許容曲げ強度 90kN・cm

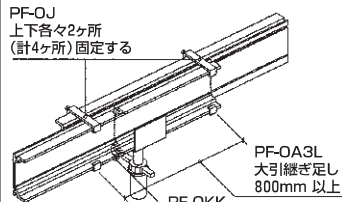
強力軽量なアルミ大引

断面性能の高いアルミ合金を材料とした大引材により、大きなスラブ厚や梁背に対応できます。また、ダブルで使用する場合は背中合わせで一体化する構造になっています。



【アルミ大引シングル（連続梁）使用時】

PF-OJ
上下各々2ヶ所
(計4ヶ所) 固定する



大引ジョイント
PF-OJ

大引固定金具
PF-OKK

190
63.5
アルミ大引
PF-OA3L

大引材型式	PF-OA 3		
材 質	JIS A 6N01-T5		
使用 方法	シングル	ダブル	
全高（大引高さ）	h (cm)	19	19
全 断 面 積	A (cm ²)	26.79	53.58
圧縮フランジの断面積	Af (cm ²)	8.15	16.30
ウェブ全断面積	Aw (cm ²)	8.8	17.6
ウェブ有効断面積	AwO (cm ²)	6.3	12.6
断 面 係 数	Zx (cm ³)	145	290
	Zy (cm ³)	22	64
断面2次モーメント	Ix (cm ⁴)	1,405	2,810
	Iy (cm ⁴)	96	404
断面2次半径 (fc)	ix (cm)	7.24	7.24
	iy (cm)	1.89	2.75
許容曲げ応力度 (fb)	N/mm ²	88 (L ≤ 1.8m) 68 (1.8m < L ≤ 2.4m)	118
ヤ ン グ 係 数	E (N/mm ²)	70.3 × 10 ³	

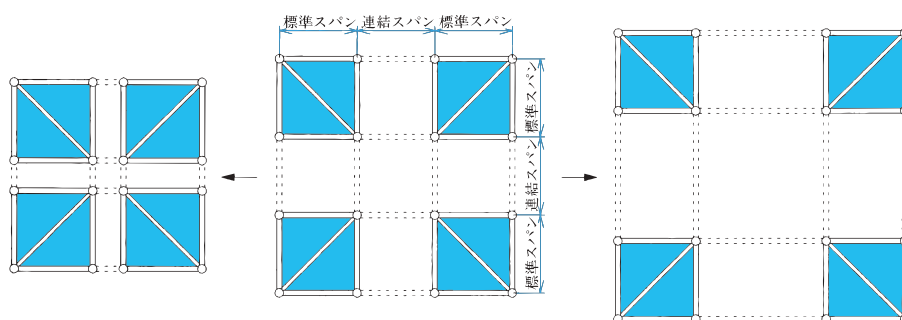


少ない基本部材で躯体へ柔軟に対応

(1) 支柱配置

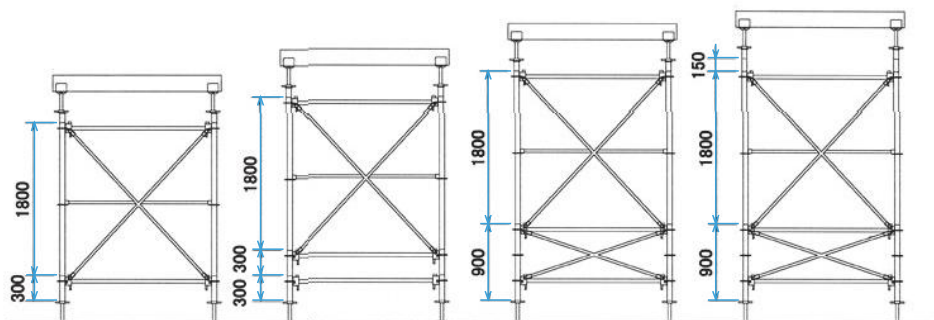
標準スパン（1800mm又は900mm）で構成された四角塔を連結するシステムです。

従来システム支保工と比べて支柱数も大幅に少なく、設計・施工計画を正確に、また簡単にすることができます。



(2) 高さ調節

4種類の支柱（1800・900・300・150）と上下のジャッキにより、自由な高さに設計することができます。



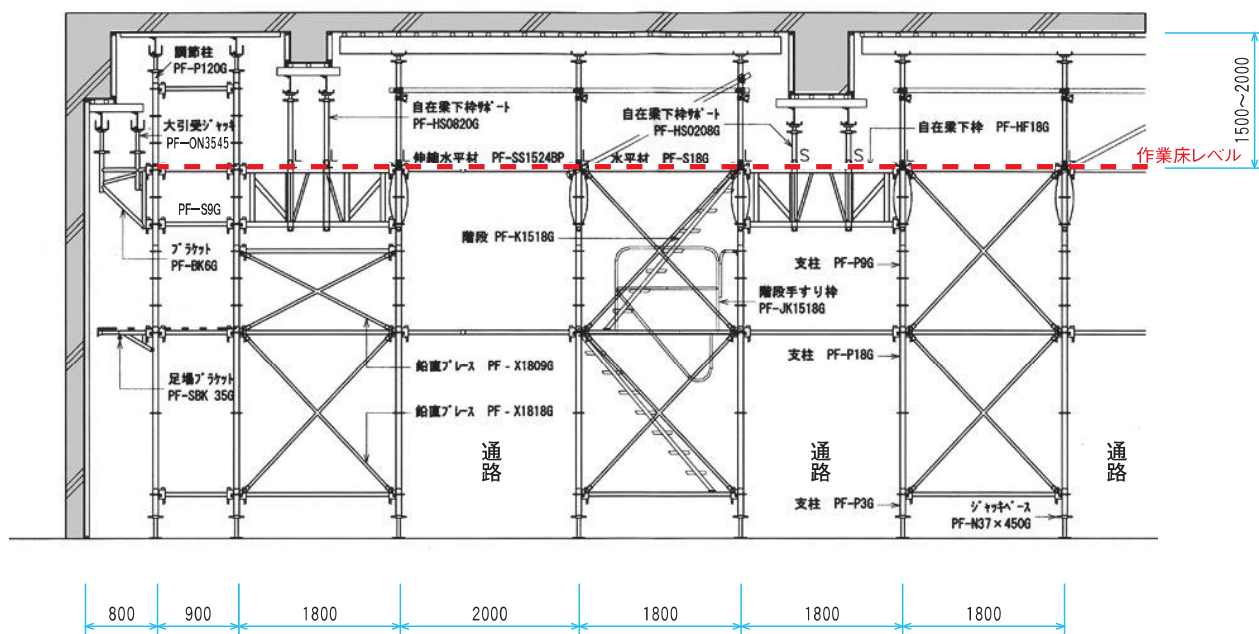
天井工事に便利なステージ機能

型枠工事及び解体後も上部の全面ステージをそのまま生かして作業ができます。



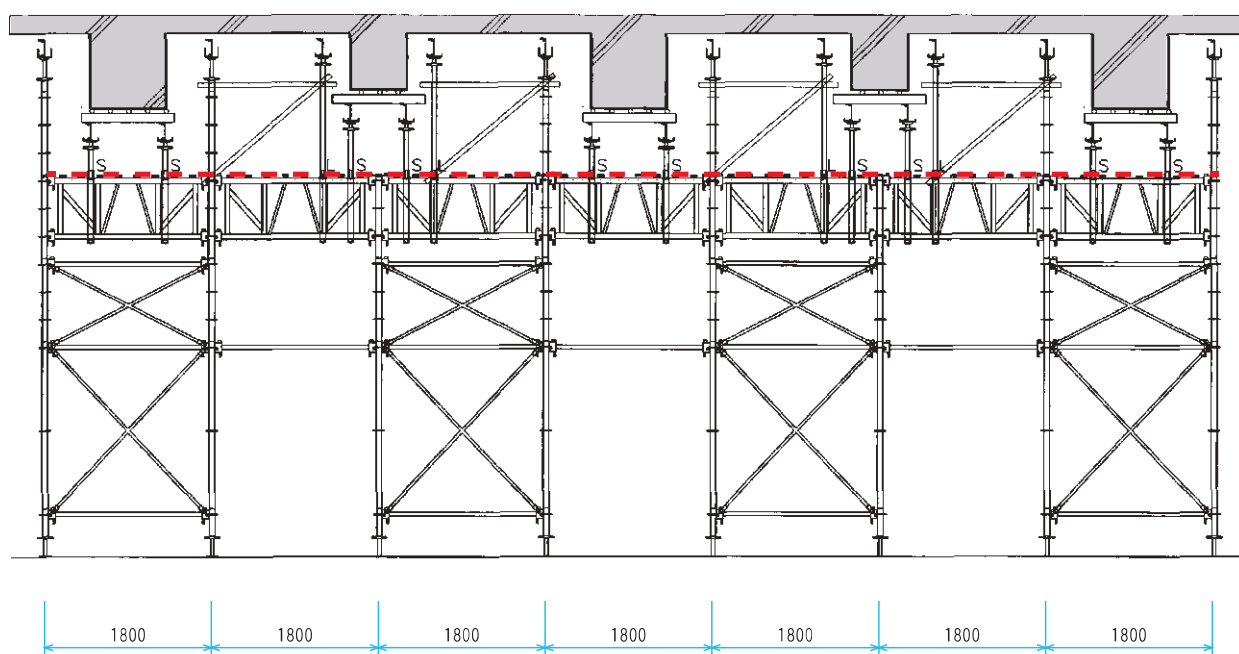
割付例 1

- 作業床には、**鋼製布板**または**軽量鋼製足場板**を使用します。
- 広い通路を設置したり、内部昇降用の専用**階段**を設置することにより、安全に作業できる環境になります。
- 水平材**及び**伸縮水平材**は、作業床で手すりの役目もし、また**足場ブラケット**を設置して**鋼製布板**または**軽量鋼製足場板**を取付けることにより、作業床や壁際で安全な作業ができます。
- 1800mmの標準スパンで梁下を支える場合は**梁下枠**または**自在梁下枠**を用います。それ以外のスパンの場合は**ブラケット**で対応することができます。

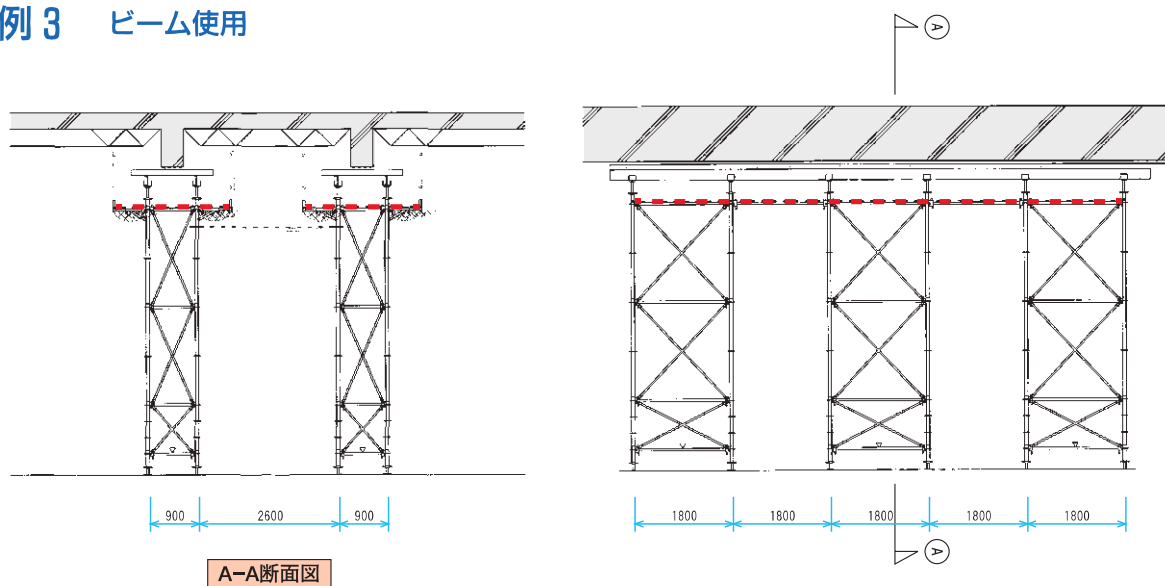


割付例 2 3Dシステム機能

- 従来の支保工では対応しきれない複雑な傾斜梁、床板等を支保するシステムです。
自在梁下枠と自在梁下枠サポートを使用することにより任意の位置及び高さ到大引受を設計し、施工する事が出来ます。
- 円形、球形（ドーム）、かまぼこ型状の躯体でもスラブ厚が600mm以下なら1800mmの標準スパンでの施工が可能です。
- 梁の間隔が狭い躯体の場合、使用機材重量は従来システム支保工に比べて平均約20%削減できます。



割付例 3 ビーム使用



割付例 4 スロープに対応

